

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	体験漁業や研修会の場を設け、将来減少するであろう漁業者のため市が育成を図る必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	後継者を育成する上で小・中学生に市場見学や体験乗船を行うことは非常に有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	後継者の育成について、市場見学や漁業体験を実施することで実際に若年漁業者が育成されており妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市と平塚市漁業協同組合が役割分担を行い、連携し実施し効率性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

平塚市漁業協同組合の育成事業は将来の漁業者の減少が予測されることから小・中学校に呼びかけを行い継続して支援していく必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				小学生の体験乗船、市場見学などへの支援	小学生の体験乗船、市場見学などへの支援	小学生の体験乗船、市場見学などへの支援		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.27	0.27	0.27	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,266	2,266	2,266	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,266	2,266	2,266	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

市場見学や平塚市漁業協同組合の行う体験漁業は参加者が多いため現状の規模で継続して支援していく。

平成21年度の実行方針

小・中学生の体験漁業や研修など参加者の増加を検討する。

課長コメント

後継者育成のため、平塚市漁業協同組合等が実施している研修等の支援を継続して行く。